

趣味探訪

山口 泰弘

颯川



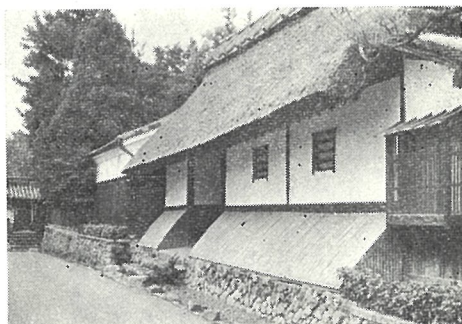
同志社理事
校友会会長

晩秋のある朝、京都洛西
お酒の神様として有名な松
尾神社の北を通り、西山々
麓の山口理事の宅に着く。

門構えの民家、素封家の
面影が静かなたたずまいの
中に感じられる。草葺の玄
関はこの地区の代表的な建
物ではないかと思われる。

また案内していただいた
書斎の窓には折から色づい
た柿の実が五、六個枝をの
ばしてつらさがっていた。

さながら竹林を背景に一幅
の日本画である。



静かなたたずまいのお宅

小鳥のさえずりが、耳をすますと聞こえて
くる。まことに結構な住居の主人公ではある

—— 山口さんは趣味が豊かで、広範囲に
わたっておられますが、今日は特に、ここに
あります「颯川」について語っていただきた
いと思いますが、始めにお集めになられたき
っかけなどを……。

山口 僕のちょっと知っている人で、東京
の「探古会」という会に入っている人がいて
颯川を収集していたんです。ところがこの方



穎川の菓子鉢

の死後、次代の人がこういったものに全然趣味がないもので、それで、散逸してしまうのがもったいので引きとってくれないかといわれてこれを譲り受けたんです。そういうふうにして引きとったのが動機で、その後も道具屋さんにいっておくと、穎川^{あきがわ}が出ると、「出ましたよ」といって持ってくるもので知らない間にふえてきました。そしてそうこうしているうちにあちこちに知られて、展覧会へ出てくれといってきたりするんです。

—— いまどれぐらいお持ちですか。

山口 もう二十数点になります。このごろでは持つてこれれると引きとらないといけなみたいなになってしまつて……。

—— また、そうでないと集まらないでしょうね。

山口 そうですね。あれこれ考えているとなかなか……。また、集めてみると数が欲しくなってきましたね……。

—— 穎川^{あきがわ}では、山口さんは関西一で、日本一ぐらいいなりそうですね。

山口 それほどでもありませんが、まあ、多いほうのようですね。穎川^{あきがわ}は、数がたくさんあるようで、案外ないんです。

—— そうでしょうね。

山口 それと、いいものが動かなくなつてしまいましたね。やはり好きで集めた人は離しませんからね。

—— こういった美術品は美術館などのケースの中に収めてしまうと、何か遠いところにあるような気がしまして……。ある程度売りに出すとかして、もっと愛好家の間に動くようにするといいいんじゃないでしょうか。

山口 そうかも知れませんがね。

—— また、こういったものは、次の代のものに趣味がなければ、二東三文で安く売つてしまつたりするのが落ちでね……。

山口 そうです。私の知っている人も、ずいぶん立派な収集をしておられたのですが、息子さんにそういう趣味がなくて、みな、ばらばらになってしまつたんです。やはり美術品などは、何代か好きな人が続かないとだめですね。

—— 山口さんのお家は大了したものです。ここを展示場にして、コレクションを並べられたらいかがでしょう。

山口 それほどでもないですが、楽しいでしょうね。

—— どうも珍しいものを見せていただきまして、有難うございました。

*

〔奥田 穎川〕（おくだえいせん）

徳川中期京都の陶工。好んで中国の古陶磁を写し、中国趣味の磁器に向つて特色を出した。作品の多くは、赤絵で、染付がこれにつき、その作品は珍重されている。

大西 友三郎



大学調度係長

電車

—— 大西さんは、のりもの、特に京都の市電を研究していらっしやるとお伺いしますか……。

大西 ええ、京都のいわゆるチンチン電車の資料を集めておりまして、京都の交通史、これはいいかえれば日本の電車の歴史ということにもなりますが、これを一冊にまとめた

いと思っているんです。

—— はじめはのりものから始められたのですか。

大西 小学校のころからのりものが好きでそれで始めたわけです。

—— 大西さんがいままでにお集めになった中での傑作はどういうものですか。

大西 そうですね、「時刻表」が一番の

品です。ここにある時刻表は明治十二年発行のもので、貴重なものですが、その他にも戦後のものがあります。普通時刻表というのは用が済めば捨ててしまいますが、これは日本の交通事情の唯一の手がかりとなる資料として最近見直されてきているんです。

*

参考までに明治十二年五月発売の「京阪神間汽車発着時刻表並ニ賃金表」をみると、京都—大阪間の運賃は、片道で上等一円三〇銭、中等八十一銭、下等で四〇銭となっている。

*

—— それでは今後の方向としては、特に京都の市電を中心にやって行かれるわけですね。

大西 その交通史をここ一年位でぜひ完成させたいと思っています。それと、これに関連して京都は電気鉄道の発祥の地ですのでその記念碑を建てたいと思っていますがいまステーションホテルの北側に建てたいと

いう念願をもっています。

—— 東京に交通博物館というのがあって日本の鉄道とかのりものの材料を相当集めていると聞きますが……。

大西 弁慶号をはじめ、珍しい機関車があったりして、鉄道ファンにとってはメッカのようなところで、私も行くたびに開眼されるのですが……。

—— のりものの中でも主にどういったものをお集めですか。

大西 汽車とか電車とか、陸上の、レールの上を走るものが好きです。

—— そういったのりものを集めている人は京都でも相当ありますか。

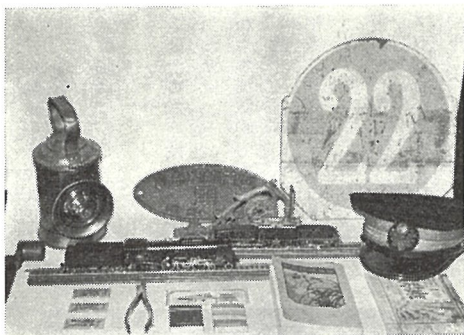
大西 鉄道ファンで結成している「鉄道友の会」というのがあって、私、現在、京都、滋賀地区の副支部長をしているんですが、会員は約三〇〇名ほどいます。

—— ここにある客車とか電車とかの模型はどれぐらいお持ちですか。

大西 全部で三〇〇輛ほどあります。

—— こんなにいろいろ沢山集められて、奥さんから苦情なんか出ませんか。

大西 「こんながらくたを買ってくと、



コレクションのいろいろ

しまいはどこかへ売ってしまえますよ」なんていわれているんですよ。（笑）

—— そうしますと、いま大西さんが最も力を入れておられるのは京都の市電の研究ということになりますか。

大西 ええ、京都の市電の発達史とか歴史を書きたいというのが一番の目的です。私は若いときからお世話になっておりますので、社会的に何かおかえししたいと思ってやって

おるわけです。いまばちばち書いていますが写真がなかなか集まりませんし、また、後期の市電については資料はあるんですが、チンチン電車の方はほとんどないもので、なかなかかたどらないのです。

—— どうも本日は珍しいものばかりを見せていただきましたありがとうございます。



時刻表